

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.520
2004

12



まちの人口

人口／4,243人
男／2,023人
女／2,220人
世帯数／1,772世帯
(10月31日現在)

11月13・14日の2日間
苫前中学校生徒会（生徒会長小笠原宏一）8名が
セイコーマートむらい苫前店で、「新潟中越地震」義援金活動を行った。
この募金活動は「僕らに何か出来ることはないか」考え、
生徒会自ら「まずは義援金に取り組もう！」と始めたもの。
寒風吹き抜けるなか「募金をお願いします。」と大きな声で
通りかかる人々へ募金活動を呼びかけた。
この義援金は、新潟県災害対策本部義援金受付口座へ送金され、
同生徒会では「心の支えになれば」と被災する中学生への
励ましのメッセージを送付した。

苫前町表彰式



平成16年度苫前町表彰式が「文化の日」の11月3日「とままえ温泉ふわっと」にて挙行政、功労、勤続、善行など20名を表彰、26名及び3団体へ感謝状が贈られた。

本町の発展の礎となられ、各分野においてご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

苫前町表彰は、条例に基づく表彰であり、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあつた方々をはじめ、永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄付をされた個人や団体などを表彰するもの。

表彰式で森町長は「今日の本町発展の礎となり、あらゆる分野で献身的な努力とご協力を続けられた方々と人知れず町政振興のため善意を寄せられた方々が数多くおられることは、郷土愛の現れであり、町の誇りです」と式辞で受賞者を労い、表彰状並びに感謝状が贈呈された。

今年度の表彰は、特別功労者三名と自治、産業及び教育文化スポーツにおける功労者六名、社会福祉、防災、納税関係での永年勤続者に九名、多額寄付における善行表彰に二名、感謝状については一般寄附者九名、三団体に授与された。

また、式典に先駆け十月二十八日には、町内に八十年以上在住し家業等を通じて町の発展に貢献した高齢者十七名に対し、各家庭を訪問し感謝状及び記念品を贈り、その功績をねぎらった。

受賞者を代表して久保田徳満さんから「与えられた職責を全うしたに過ぎず、この表彰は身に余る光栄。

今後、町の発展のため自治行政へ協力していきたい」と感謝の言葉を述べていた。受賞者は、次のとおりです。（敬称略）

特別功労表彰

久保田徳満（71才）
苫前昭和六十二年苫前町長に就任以来、四期十六年に亘り、本町の発展振興に多大な貢献をした。

坂川 黙音（75才）
旭五期二十年の永きに亘り苫前町議会議員、平成七年から二期八年間は議長に就任し、本町の自治振興に尽力したほか、苫前町選挙管理委員長や（社）苫前福祉会理事長などを歴任。本町発展振興に多大な貢献をした。

十川 猛（79才）
香川六期二十四年の永きに亘り苫前町議会議員、平成三年から一期四年間は議長に就任し、本町の自治振興に尽力したほか、

苫前土地改良区理事長、苫前町農業協同組合代表監事などを歴任。本町の発展振興に多大な貢献をした。

功労表彰

自治功労者
小野寺正博（61才）
苫前昭和三十八年苫前町に奉職以来、三十八年の永きに亘り職務に精励し、町政の円滑な執行に尽力した。

杉野 雅英（61才）
古丹別昭和三十八年苫前町に奉職以来、四十年の永きに亘り職務に精励し、町政の円滑な執行に尽力した。

小野 好（61才）
旭昭和三十四年苫前町に奉職以来、四十五年の永きに亘り職務に精励され、町政の円滑な執行に尽力した。

産業功労者
平野 忠（62才）
長島苫前土地改良区役員として二十年余の永きに亘り、土地改良事業の推進と団体の健全運営に尽力し、本町の産業振興に多大な貢献をした。

内田 靖生（65才）
古丹別四十七年余の永きに亘り、林業・林産業に従事。昭和五十七年からは留萌地方林産振興会副会長に就任し、林業・林産業の発展と団体の健全運営に尽力し、本町の産業振興に多大な貢献をした。

教育文化スポーツ功労
中野 吉晴（72才）
古丹別昭和四十八年くま獅子保存会

結成以来会長等を歴任し、後継者の育成やくま獅子少年団の結成など、「くま獅子舞」の保存継承に尽力すると共に、苫前町文化協会の会長などを歴任し、本町の文化振興に多大な貢献をした。

永年勤続表彰

社会福祉関係

社会厚生委員十年以上
菊池 典子（58才）
古丹別

防災関係
消防団員三十年以上

檜森 光夫（54才）
古丹別消防団員二十年以上

加藤 孝幸（43才）
苫前水難救助員三十年以上

杉本 司（52才）
古丹別水難救助員二十年以上

初山 忠雄（46才）
苫前

佐々木雅洋（41才）
苫前

川村 信介（48才）
苫前



永年勤続者へ森町長より表彰状が授与される

納税関係

納税貯蓄組合長四十年以上
 関 薫(61才) 古丹別
 納税貯蓄組合長二十年以上
 石川 博美(80才) 古丹別

善行表彰

小田 スイ(82才) 古丹別
 昨年十月、苦前町へ一般寄附として、百万円を寄附
 花井 忠昭(71才) 岩見
 本年二月、苦前町へ一般寄附

として百万円を寄附。

感謝状

寄附

留萌地区間伐材生産加工組合
 (代表理事松尾忠司) 古丹別
 浅井雄一 遠別町、(有)エフケ
 ードラック(代表福井俊之) 羽幌町、故中野英三 古丹別、
 石川達司 旭川市、田中博幸 札幌市、苦前建設協会(会長) 橋場一雄 古丹別、伊藤ハマ

工 古丹別、織笠輝磨 古丹別
 千代谷英夫 羽幌町、青木和雄
 古丹別、猪股正博 苦前
 町内在住八十年以上
 上平 小瀧義宗、三豊 岡

田博、苦前、田中妻子、阿部
 千代、宇佐美ミチ子、福土又イ、
 吉田フジ子、大場愛子、横野政
 美、旭、合田りつ子、小林八
 ル平、長島、上田スミ、古
 丹別、水谷俊久、宮本實、石川
 博美、九重、村上房子、森本
 國光

関武さん(更生保護功労)瑞宝双光章
 金子勘市さん(消防功労)瑞宝単光章

この度、秋の叙勲において苦前の関武さん(70才)が保護司41年11か月の功績が認められ瑞宝双光章を受賞。一方、古丹別の金子勘市さん(71才)は、春と秋の叙勲とは別に、消防職員37年間の功績が認められ、危険業務従事者叙勲として、瑞宝単光章を受賞した。



関武さんは、昭和37年に保護司を委嘱され、これまで41年11か月奉仕の精神に徹し、保護観察対象者や家族に深い信頼感を与え、綿密な処遇活動によって多くの保護観察対象者を更生に導いた。また、地域社会における犯罪予防活動にも率先して参加、更生保護事業に多くの実績を残した。また、昭和40年から現在まで民生委員児童委員を勤め、苦前保育園理事、町社会福祉協議会理事などを歴任し、地域社会福祉事業へ積極的に関わり、地域福祉向上に尽くしている。



金子勘市さんは、昭和21年4月に苦前村警防団員、翌年8月に同村消防団員、昭和25年4月に苦前町消防団常備消防員を拝命。昭和48年に北留萌消防組合設立に伴い、同組合消防吏員として勤務。昭和58年3月に退職するまで37年間に亘り、消防の第一線で活躍。昭和48年8月の集中豪雨災害では河川氾濫が相次ぎ、東川地区で孤立した農家住民をロープを張りながらゴムボートで救出。翌年12月の古丹別市街地での商店火災では強風の下、延焼を防ぐため自ら果敢に放水活動を行った。また、火災予防思想の普及への情熱も高く、防火講習会や消火器の取扱い説明会を積極的に実施。消防職員・団員の消防技術向上にも尽力した。

お二人の叙勲受賞を心よりお祝い申し上げます。

「文芸」

苦前町文芸を語る会

(短歌)

大根は茂りて太し早漬けをホームへ持参す老いのよろこび

長島 水谷 露子

雲ゆれて人もゆれゆく風もまた押されて揺るる冬のブランコ

古丹別 木幡とく子

りんだいに乗せられてみし菊の花文化のその日待らつ董れり

古丹別 住吉 美恵

つましく鬼灯の殻透き通り灯がともるかに赤き実熟れる

古丹別 大矢根亮子

寒々と闇に無量の木枯らしのゆくえを思ひ寝返りを打つ

栄浜 横内 弘子

(俳句)

残菊や 枯れ果つるとも 孤高なほ

古丹別 林 千代美

静けさや さるなしの実が 一つ落ち

古丹別 桑 風

川柳

仏前に 姉と語れる 一周忌

古丹別 運上 吉雄

スネ噛る 子等に財テク 崩される

古丹別 宮本 貞博

へボ将棋 笑った相手 負け将棋

古丹別 斎数 範章

一日の 勤めに感謝 靴と脱ぐ

古丹別 関 武

出世する 手相と違い 平社員

苦前 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

苦前継続協議主張の
意思が通らず

合併新町の姿示せず



地域自治組織の取扱い（地域自治区設置か地域審議会設置）、財政シミュレーションにおける普通建設事業費推計など八項目において意見がまとまらず継続協議となっていた。

前回の協議会では、羽幌町から協議会の是非について「各地域の現状と理想の違いが鮮明であり、基本項目の合意には時間不足」と協議の打ち切りを提案。今回協議では、初山別村が「羽幌町が離脱を表明するならば、これ以上の審議は無理。合併新法の下で協議したい」と解散を受け入れた。一方、苫前町は「協議会の使命は、合併した場合の姿を住民に示し、合併への判断

資料を提供することが責務」と継続協議を要望。審議は、意見がまとまらず三町村の首長及び協議議長が別室で協議したが、調整できず協議会が再開。会長の舟橋羽幌町長が「協議会を廃止（解散）する」と宣言した。会場には町内外の傍聴者五十名が訪れ、関心の高さが伺えたが、解散の結果に落胆と失望でことばを失った。

森町長の見解

協議終了で森町長は「大変残念なことですが、力不足で苫前町の意見が通らなかつたことに町民に対し、申し訳ないと思っております。羽幌町は先程の意見どおり「どうあつても離脱し、打ち切りしたい」、初山別村は「羽幌町が離脱するのであれば出来ない」ということであり、先程の（舟橋）会長からの報告とな

合併協議会廃止報告会

十一月二十二日町福祉センター（字苫前）、二十四日町公民館（字古丹別）において合併協議会の廃止に伴う報告会が行われ、森町長からこれまでの協議内容や廃止に至った経緯が説明された。

説明では、森町長より合併協議会の継続の必要性や新たな合併新法の内容に依りて先々に議論することが必要との考えを示した。また、協



今後、この説明は各地域でも要請に応じて開催していくこととしている。

りました。今後は中部三町村での広域行政を積極的に進め、効率のよい行政を進めるとともに、現在組織されております「中部

留萌中部三町村合併協議会は、十一月十日町公民館で第八回協議を行い、羽幌町の協議打ち切り提案に、初山別村が「継続協議を主張する苫前町との合意が得られず、同協議会の解散を決定した。」

継続協議となっていた協議項目

- 新町の名称
- 事務所(役場)の位置
- 議会議員の定数及び任期の取り扱い
- 財産及び債務の取扱い
- 新町建設計画（財政シミュレーション）
- 新町建設計画
- (将来構想ダイジェスト版・まちおこしアンケート)
- 地域自治組織等の取扱い
- 新町建設計画（施設整備計画）に関する事項

承認された主な協議項目

- 合併の方式
- 合併の期日
- 新町建設計画策定方針
- 議会議員の報酬及び費用弁償の取扱い
- 特別職の身分の取扱い
- 地方税の取扱い
- 使用料、手数料の取扱い
- 一部事務組合、第3セクターの取扱い
- 町名・字名の取扱い
- 公共団体の取扱い
- 補助金、交付金の取扱い
- 新町建設計画に関する事項
- 新町建設計画将来構想
- 財政・出納関係事務事業の取扱い
- 総務関係事務事業の取扱い
- 生活環境関係事務事業の取扱い
- 企画関係事務事業の取扱い
- 農林水産関係事務事業の取扱い
- 商工観光関係事務事業の取扱い
- 学校関係事務事業の取扱い
- 社会教育関係事務事業の取扱い
- 国民健康保険事業の取扱い
- 介護保険事業の取扱い
- 医療機関の取扱い
- 保健事業関係事務事業の取扱い
- 高齢者福祉関係事務事業の取扱い
- 保育事業関係事務事業の取扱い
- その他福祉関係事務事業の取扱い

振興協議会（町村長及び協議議長長の六名で構成）を中心に、より一層の活性化を図って参りたい。苫前町としては、この協議会を継続してほしいと願っていましたが、重ねて住民の皆様の期待に沿うことが出来ず、申し訳なく思っております。今後、合併新法は五年間の期限立法での議論が出てくると予想されますが、それぞれの立場で研究を重ね対応していきたいと思っておりますので、今後のご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。」と今後も継続的に研究協議を進める姿勢を示した。

漫画家 弘兼憲史氏 風力発電施設視察



十月三十日「課長島耕作」や「加治隆介の議」などで知られる漫画家弘兼憲史氏が、上平グリーンヒルウインドファーム内の楸ドリムアップ苦前発電施設を取材に訪れた。

取材は、高尚な論評と定評のあるオピニオン誌「中央公論」における「弘兼憲史のエネルギー」

「を考える」シリーズの一環で、先進的に取り組んでいる大規模風力発電施設と世界初の取り組み

である大型蓄電研究施設を視察。苦前町の風力発電への取り組みについて、渡辺正町企画振興課長から説明し、ドリムアップ苦前発電施設の概要について、同社三保谷明代表取締役社長から説明が行われ、弘兼氏は風力発電事業のメリット・デメリットを探っていた。取材を終え弘兼氏は「自然との違和感はなく、まるで器械体操を見ているようだ」と感想を語った。なお、この内容は「中央公論」一月号に掲載予定となっている。

まちかど対話212

高橋知事大型蓄電研究施設視察



高橋知事、三時現地到着後、辺町企画振興課長

まちかど対話212事業で留萌管内を訪れていた高橋は、み

から風力発電施設及び蓄電施設の概要説明を受け、森町長が同行し施設内を見学。世界初の大型蓄電研究施設に関心を深めた。

視察終了後は、羽幌町に移動し管内九市町村の首長との意見交換会が行われ、一次産業と三次産業の連携による「食ロッドでの観光振興」をテーマに話し合い、管内の食材を利用した夕食会で懇談した。なお、苦前町の食材には、「こぶさかぼちゃ」が提供された。

農協婦人防火クラブ 北海道消防功労表彰

十一月十日札幌ホールスターホテルにおいて北海道消防表彰式が行われ、苦前町農協婦人防火クラブ（会長鴨田幸子）会員八十一名）が功労賞を受賞した。この表彰は消防活動において著しい功労があると認められる個人若しくは団体へ贈られるもので、同クラブは、昭和五十七年一月に結成以来二十二年間「火災予防は婦人の手で」を合言葉に、防火パレードへの参加、街頭啓発運動、防火訓練などを積極的に行い、火災予防思想の普及に努めたことが認められたもの。この表彰を受け、鴨田会長は「大変光栄に思う。これからも安全で安心できる地域づくりのため、活動していきたい」と喜びを語っていた。



鴨田会長（中央）とともに受賞を喜び後藤恭美子副会長（左）と松原ミヤ子副会長（右）

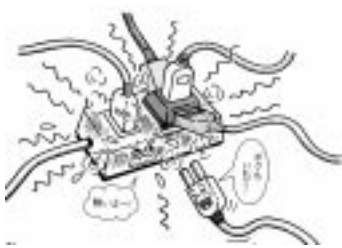
ファイヤー通信 歳末特別警戒実施 12月25日から12月31日

この運動は、歳末の繁忙期を迎え火気取扱い使用機会が増加し、取り扱いの不注意不始末などで死傷者の伴った火災が多発している現状から、地域住民の防火意識の高揚を図り、予防指導を徹底し、「出火防止」と「人命損傷」の絶無を期することを目的としています。

重点目標

- (1) 家庭における防火安全対策の推進
- (2) 販売店舗、ホテル、飲食店など不特定多数の者が出入りする対象物における防火安全対策の推進
- (3) 高齢者・災害弱者などを中心として死傷者事故防止への対策と徹底

たこ足配線 熱くなる、



危険なコード

特別査察の実施期日及び対象物

期 日
12月25日(土)から31日(金)まで
対 象
年末年始で混雑が予想される対象物
製造業で火気を多く使用する対象物

天ぷら油 燃えます、



360

火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苦前支署 4-2321
古丹別支署 5-4119

体育協会・文化協会

『表彰と交流の集い』で表彰



ラブ入会。平成八年から役員。各事業に積極的に参加。無線技術の向上と普及発展に貢献。
花井 秀昭（字岩見「44才」）
町くま獅子保存会に昭和五十四年入会。平成九年に少年団指導者として子供たちの指導に尽力し、郷土芸能の保存と後継者育成に貢献。

体育協会表彰

スポーツ奨励賞

伊藤 慎輔（字古丹別「東海大 学付属第四高校三年」）

第二十三回全北海道高等学校新人剣道大会において団体戦（中堅出場）優勝。第十三回全国高等学校選抜大会ベスト十六。
小林 一喜（字九重「札幌第一 高校三年」）

第二十三回全北海道高等学校新人剣道大会において団体戦（次鋒出場）第三位。
スポーツ振興賞

合田真智子（字旭「45才」）
日本海オロロンライントライ

アスロン国際大会リレーの部（ラン出場）優勝。

開発 法起（字古前「47才」）

第三十八回北海道剣道祭剣道形試合の六段以上の部で優勝。

文化協会表彰

文化振興賞

五反田 久（字古丹別「61才」）

昭和六十年苦前ひくま八ムク

スポーツ功労賞

小野寺 正博（字古前「61才」）

平成三年より野球連盟理事（事務局長）及び留萌支部評議員として少年野球及び一般軟式野球の普及発展に貢献。

小野 好（字旭「61才」）

審判員として数多くの試合をこなし、平成三年より野球連盟理事及び留萌支部評議員として少年野球及び一般軟式野球の普及発展に貢献。

特別賞

古丹別中学校野球部

第三十回中北部北海道中学春季野球大会優勝。その実力とともに「フラインプレー賞」を受け、マナーでも高く評価された。

北海道小学生バレーボール道北大大会

古丹別バレーボール少年団準優勝で全道大会!



第24

回道新カッパ北海道小学生バレーボール道北大大会が十一月七日旭川市立神居小学校で開かれ、古丹別バレーボール少年団は、稚内や旭川チームを接戦のうえ打ち破り、決勝では同じ留萌管内の遠別イーグルスと対戦。惜しくも優勝を逃した。

全道大会は、上位四チームが出場し一月十二日江別市で開催される。主将の能登智穂佳さん（古小六年）は「みんなの力を合わせ全道一を目指します」と目標を掲げ、古丹別小学校体育館で日々猛練習を重ねている。

学社融

京京 三年生酪農体験で乳搾り



牛の乳搾りを体験する児童

十月二十九日古丹別小学校三年生二十二名が字岩見の丹羽牧場（丹羽秀樹さん）の牛舎で酪農作業を体験した。児童たちは実際に牛の乳に自

らの手で触れ、「柔らかくて温かいね」と言いながら、新鮮な牛乳をバケツに搾り出した。一方、苦前小学校三年生十七名は、十一月九日字旭の大矢根牧場（大矢根成孝さん）で、乳搾り体験とともに牛舎見学が行われ、生後間もない仔牛を見て、思わず「かわいい」と言ってみ入っていた。体験終了後に両牧場からは、児童たちへ搾りたての牛乳が振舞われ、その味に児童たちは「甘くておいしい。バター」の味がする」と感激。普段飲んでいる牛乳の味と比べていた。

飼い主の皆さんへ

犬の放し飼いはやめましょう！
散歩中のふんは飼い主が責任を持って後始末しましょう！
綱を放しての散歩はやめましょう！



本を利用してやってみよう！

お菓子の家づくり

十一月十六日町公民館において図書室サポーター協力のもと、子どもたち二十名がグリム童話でお馴染の「お菓子の家づくり」を体験。



まず童話「ヘンデルとグレーテル」の読み聞かせて始まり、お菓子の家作りでは、クッキーやウエハースを使い溶かしたチョコクリームで組み立て、色とりどりのチョコやガム、生クリームで飾り付けた。作製指導には、英語指導助手のオリヴァ・デヴィスさんも加わり、子供たちは組立てに悪戦苦闘しながらも、メルヘンの世界を味わった。

苦前町子ども会かるた大会

冬期間の室内スポーツとも言われる百人一首。年々参加チーム数が減少しています。3人1組で参加してみませんか！

なお、上位4チームは中部三町村子ども会かるた大会への出場資格を得ることが出来ます。

日時 1月9日 午前9時から
場所 苦前町公民館和室1・2号
部門 小学生の部・中学生の部
参加料 無料



社会教育からのお知らせ

町内のスキー場がオープンします！

スキー場 苦前三角点スキー場・古丹別緑ヶ丘スキー場
開設期間 平成17年1月5日(水)～平成17年2月28日(月)
定休日 毎週 火・木曜日 ただし、冬休み期間は火曜日のみ
リフト運行



| 1月5日～1月18日 | | 1月19日～2月28日 | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 平日 | 13:00～20:45 | 平日 | 18:30～20:45 |
| 土曜祝日 | 13:00～20:45 | 土曜祝日 | 13:00～20:45 |
| 日曜日 | 13:00～15:45 | 日曜日 | 13:00～15:45 |

ロッジは、リフト運行終了後15分間使用できます。

16:45～18:30の時間帯はメンテナンスのためリフト・ロッジとも休止させていただきます。

リフト使用料

| | 中学生以下 | 高校生以上 |
|-------|-------|--------|
| 1日券 | 無料 | 310円 |
| シーズン券 | 無料 | 2,030円 |

スキー場の開設期間やリフトの運行時間などは積雪や天候状況により変更となる場合がありますので、ご注意願います。



スキー置き場に個人のスキーを置くことは自由としますが、盗難等については一切責任を負いません。なお、スキー靴は必ずお持ち帰り願います。

～あなたの生涯学習、応援します～
お問い合わせ先

苦前町教育委員会

苦前町公民館 電話 5 - 4076

E-mail : tph@jasmine.ocn.ne.jp

HPアドレス : <http://www1.ocn.ne.jp/tomamae/>

小昼力

百二十年の歴史にまた一つ勲章 旭川方面交通安全協会表彰

来年三月に閉校する力昼小学校(校長松本栄造)が交通安全啓発活動の実践が認められ、十一月十二日道警旭川方面本部長並



塚田茂羽幌署長から表彰状を受ける松本校長と児童会代表の金澤恒慧君、福井和良君

びに旭川方面交通安全協会長の連盟により表彰状が伝達された。

同校は、駐在所員の講和やビデオ学習を積極的に取り入れ、昭和六十一年から十八年間、国道二二三号線を通過する車両に対し、学校菜園などで栽培されたジャガイモとともに児童が交通安全を呼びかけるメッセージをドライバーに手渡すなどの交通安全啓蒙が認められたもの。

松本校長は「子供たちが長年活動してきたキャンペーンが認められ、閉校を前にすばらしい思い出になりました」と喜んで

高商 体験発表会

「新しい風 町の活性化」を提言

十一月十三日苫前商業高等学校では町公民館において体験発表会を行い、国際交流や町内施設見学及び職場実習、ボランティア活動を報告するとともに課題研究において「特産品カボチャ」を使っ

ての商品開発研究結果を報告。会場で試作品の「カボチャ庵のどら焼き」



が試食され、好評を得ていた。また、商業部では苫前町の活性化をテーマに、旧営林署庁舎や旧古丹別支所の有効活用や、「風車まつり」の開催方法で、上平模範牧場を会場に花風車作成を町外者へ拡大することを提言。「自分たちが育った地域です。地域の一員として、町のために出来ることは何か考えて生きます。」と締めくくった。

健康 食育

「子どもの食事を楽しく」

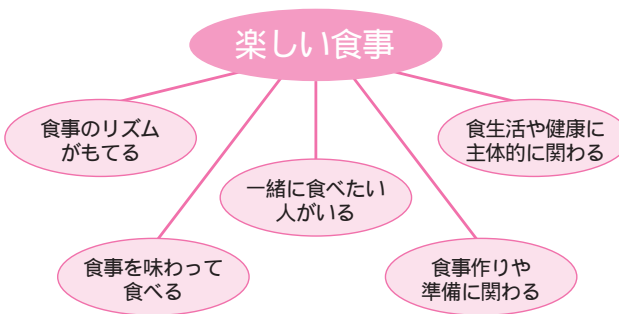
今月の担当は鍵山栄養士です。

近年、子どもの食事は、発育や発達に必要な時期にありながら、栄養素の偏り、朝食の欠食、肥満の増加などさまざまな問題が発生し、生涯にわたる健康への影響が心配されています。

また、親子のコミュニケーションの場である食卓も、家族そろっての食事をすることが少なくなっています。

食事は、生きるための基本であり、子どもの健やかな心と身体の発達に欠かせないもの

子どもの食事を楽しくする5つのポイント



「楽しく食べる」ということは、身体的、精神的、社会的健康にもつながります。子どもにおいて食事の楽しさは、食欲や健康状態、食事内容や一緒に食べる人などが、ともに深く関係しています。

「食べる力」を育てる。食事を「楽しく食べる」には、それぞれの成長に伴って「食べる力」を育てることが大切です。

授乳期、離乳期
安心して母乳の飲む環境を作る。いろいろな食べ物を見て触って、味わって、自分で進んで食べる。

幼児期
おなががすくリズムがもてる。家族や仲間と一緒に食べる楽しさを味わう。栽培や収穫、調理を通じて、食べ物に触れる。



学童期
一日三回の食事や間食のリズムがもてる。食事のバランス、適量がわかる。家族や仲間と一緒に食事作りや準備を楽しむ。

思春期
食料の生産・流通から食卓までの流れがわかる。自分の身体の成長や体調の変化を知り、健康管理ができる。

子どもは、発育・発達して成長し、その生活や行動も変化していきます。

「食」とは、味わって食べたり、食事を作ったり準備をしたり、その中で人と関わったりとさまざまな行動によって営まれ、食べ物や料理は、生産・流通・調理の過程を経て食卓にのぼるため、地域や季節によっても異なり、実に広い繋がりがあります。その中で子どもが「食」に関わりながら成長し「食べる」ことが楽しいと思える環境を作ることが、子どもの育成において重要となります。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

進む高齢化、高齢化比率32.9% 地域ぐるみで健康づくりを!!

(別表1) 苫前町の高齢化の推移

(国勢調査時)

| 年 度 | 総人口 | 65才以上人口 | 比 率 / |
|-----|--------|---------|-------|
| S55 | 6,528人 | 855人 | 13.1% |
| S60 | 5,748人 | 897人 | 15.6% |
| H 7 | 4,868人 | 1,209人 | 24.8% |
| H12 | 4,645人 | 1,319人 | 28.4% |
| H16 | 4,243人 | 1,394人 | 32.9% |

H16年数値は、10月31日現在住民基本台帳より

わが国の平均寿命は、医療技術の飛躍的進歩により年々伸び続けています。苫前町の高齢化の状況は(別表1)、昭和五十五年には十三・一割であった高齢化比率も、平成十六年十月末には三十二・九割と、急速に高齢化が進んでいます。また、急激な高齢化とともに本町の一人当たりの老人医療費も過去五年間の推移において、平成十二年度老人医療費制度改正に伴い、介護保険導入や老人医療費一部負担により減少しました。しかし、過去三年間の平均医療費は約七十八万円となっており、成人一人当たりの医療費約二十五万円と比較しても、いまだ高い水準で推移しています。(別表2)

(別表2) 1人当たり老人医療費の推移

(老人医療受給者分)

| 年 度 | 1人当たり医療費(円) | 対前年度伸び率(%) |
|-----|-------------|------------|
| H11 | 822,890 | 0.4 |
| H12 | 763,785 | 7.2 |
| H13 | 810,630 | 6.1 |
| H14 | 751,856 | 7.3 |
| H15 | 776,704 | 3.3 |

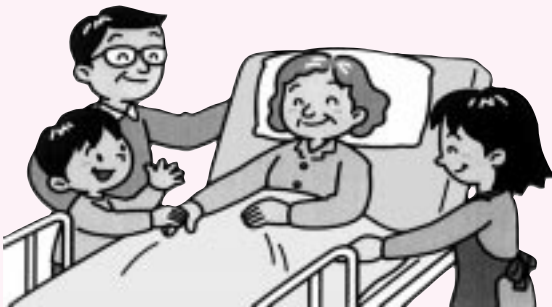
H15年度の数値については、概数値

今後、医療費の抑制を図るためには、まず高齢者皆様の健康増進が大変重要な課題となります。このことから高齢者本人は勿論のことですが、家族、地域ぐるみで生きがい・健康づくりに取り組み、疾病の予防及び早期発見、早期治療、重複・多受診の防止を図ることで、在宅ケアなどの推進に努めるよう日頃から心がけましょう!



介護保険・福祉Q&A

Q 介護保険料や利用料は、確定申告の際に所得控除されると聞きましたが、それはどんなことですか?



お問い合わせ先 苫前町役場町民課しあわせ係
TEL 01646-4-2215 (内線273) まで

所得控除について

A(1) 医療費控除

介護保険制度で提供されるサービスのうち医療費控除対象となるものは、次のとおりです。

指定介護老人福祉施設サービス費(介護費及び食費)に係る自己負担額として支払った額の2分の1(制度以前より利用されていた方は対象外)。介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設の施設サービス費は従来より医療費控除の対象。

居宅サービス計画にもとづき、医療系サービス(訪問看護等)と合わせて利用する訪問介護、通所介護、短期入所生活介護等に係る自己負担額。医療系サービスは従来から医療費控除の対象。

おむつ代

(2) 社会保険料控除

介護保険料は、社会保険料控除の対象となっている保険料です。

新ロータリー除雪車導入



これまで使用していたロータリー除雪車の老朽化に伴い、10月29日新たに250馬力の新ロータリー除雪車を導入しました。

排雪処理能力を50馬力アップしたことにより、排雪作業の効率が改善されます。

除雪や排雪へのお問い合わせは、
役場建設課管理係 4 - 2315へ

冬期間除雪委託業者決定

除雪作業にご協力を

冬を快適に過ごすため百七十一路線(九六・六*)の生活路線や公共施設、産業道路の除雪を実施しますので、次の点にご注意をお願いします。

早朝から除雪を開始し、午前七時完了予定ですが、大雪や吹雪で遅れることもあります。原則、緊急時以外は午後七時以降の除雪は行いません。路上駐車や公共施設駐車場への夜間駐車は、除雪作業の妨げとなりますので、車庫等へ移動願います。除雪や排雪時に支障となる箇所へはポール等の目印を設置願います。

| | | | | |
|---------------------|---|---|---|----|
| 山本建設工業(株) | 五 | 三 | 一 | 四 |
| 旭地区 | | | | |
| (有)大川商店 | 五 | 三 | 〇 | 三五 |
| 苦前地区 | | | | |
| 千葉建設(有) | 四 | 二 | 八 | 一九 |
| 港・三豊地区 | | | | |
| 千葉建設(有) | 四 | 二 | 八 | 一九 |
| 北香川・上平・力昼地区 | | | | |
| (有)北進産業 | 四 | 二 | 一 | 五二 |
| 幹線道路(旧直営路線) | | | | |
| 山本建設工業(株)・橋場建設工業(株) | | | | |
| 南長島・香川地区 | | | | |
| 苦前建設工業(株) | 五 | 三 | 三 | 〇九 |
| 北長島・九重地区 | | | | |
| 橋場建設工業(株) | 五 | 三 | 三 | 三六 |
| 古丹別地区 | | | | |
| 渡部工業(株) | 五 | 三 | 〇 | 五五 |
| 小川・岩見・東川地区 | | | | |
| 林商会 | 五 | 三 | 三 | 〇四 |
| 小川地区 | | | | |
| 苦前運輸(株) | 五 | 三 | 九 | 二三 |
| 三溪地区 | | | | |
| シーテック工業(株)苦前支店 | 五 | 三 | 七 | 〇二 |

災害救援車「博愛号」

更新配置

11月9日に日本赤十字社北海道支部より各種災害に対し、迅速かつ確に救援活動を展開するため、災害救援車「博愛号」が寄贈されました。

本車両は、同支部苦前分区地域において発生する災害や事故、その他緊急を要する事態に対し、救援活動や救援物資の運搬やその他の各赤十字活動を円滑に実施するため活用されます。



犯罪や事故のない

年未年始を!

年未年始は、空き巣狙いや引つたくり、自動車盗など市民生活に身近な犯罪の多発が予想されます。安全で平穏な年未を送り、希望に満ちた新年を迎えるため、次のことに気をつけ、犯罪被害や事故に遭わないようにしましょう。

家を留守にするときは、必ず

戸締りをしましょう。すぐ戻るといふ気持ちで危険です。多額の現金を持ち歩くときは、タクシースの利用を心がけ、歩行の際はバックを車道の反対側に持ち、複数で行動しましょう。自動車から離れるときは、必ずエンジンキーを抜いてドアロックをしましょう。また、車内にはバックや現金を置かないようにしましょう。

羽幌警察署

ご厚志に感謝します

町への寄付

古丹別 加藤 ヤチヨ 様
(広報11月号にてお名前を間違えておりました。訂正しお詫び申し上げます。)

苦前 齊藤 長蔵 様
町社会福祉協議会への寄付

札幌市 稲葉 豊子 様
中 山 久仁子 様
河 原 美代子 様
古丹別 吉田 正一 様
各町内会等への寄付

(力昼町内会へ)
力 昼 福 井 龍 行 様

(港町内会へ)
古丹別 奥 崎 哲 夫 様

(苦前町内会へ)
札幌市 稲 葉 豊 子 様
中 山 久 仁 子 様
河 原 美 代 子 様

(栄浜町内会へ)
栄 浜 石 井 正 気 様

苦前町の交通事故情報

平成16年10月末現在

発生件数 死者数 負傷者数
8件 1人 10人

交通事故死ゼロ日数は
10月31日現在で182日

12月

町税の納期

今月は、国民健康保険税
介護保険料
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。

各団体クラブ等への寄付

(栄浜老人クラブへ)

栄 浜 石 井 正 気 様

(栄浜婦人部へ)
栄 浜 石 井 正 気 様

お 詫 び

広報十一月号四頁「コミニズク保護」記事においての「えび桁漁船」を「えびかご漁船」に訂正いたしますとともに、お詫び申し上げます。

こうなります！

預金保険制度

平成17年4月以降は、全額保護される決済用預金を除き、預金者1人当たり、元本1千万円までとその利息が保護されます。

「決済用預金」とは、「無利息、要求払い、決済サービスを提供できる」という条件を備えた預金で当座預金や利息の付かない普通預金が該当します。

利息が付く普通預金や定期預金等は、預金者1人当たり元本1千万円までとその利息が保護されます。

預金保険制度に加入している金融機関は？

銀行 / 信用金庫 / 信用組合 / 労働金庫 / 信金中央金庫 / 全国信用協同組合連合会 / 労働金庫連合会

農協、漁協、水産加工協等は、別途、農水産業協同組合預金保険制度に加入しています。

もっと詳しく知りたい方は？

預金保険機構 03(3212)6029、
北海道財務局 011(709)2311または金融機関窓口でご確認下さい。

スマイル 住まいる情報

Information

年末資金はお早めに！ 年末資金の準備はお済ですか？

国民生活金融公庫では、例年どおり年末事業資金を取り扱っています。また、新たに事業を進められる方へのご融資の相談もお受けしております。

年末の商品仕入れや手形の決済、従業員へのボーナスの支払などに国民生活金融公庫の資金をお役立て下さい。

ご融資条件

- 1 ご融資限度額 4,800万円
- 2 資金使いみち 事業資金
(運転資金・設備資金)
- 3 利率 年1.7%
- 4 ご返済期間 運転資金 5年以内
設備資金10年以内

5 保証人・担保
保証人・担保(不動産有価証券等)などは、お客様のご希望に応じてご相談させていただきます。

なお、事業によってはご融資額やご返済期間及び利率が有利な融資制度や「国の教育ローン」など、その他の融資制度もございますので、詳しくは最寄の商工会または国民生活金融公庫旭川支店(0166-23-5241)融資担当係までお気軽にご相談下さい。

働いている調理師の皆様へ！

調理師法では、調理業務に従事する調理師が二年ごとに十二月三十一日現在の従事場所等の届出が定められており、今年が届け出の対象年となっております。届出の必要な調理師は、次の施設、店舗で調理業務に従事している方です。

施設：寄宿舎・学校・病院・事業所・社会福祉施設・介護老人保健施設・矯正施設・その他多数人に飲食物を調理して供与している施設
店舗：飲食店営業・魚介類販売業・そつざい製造業
届出は平成十七年一月十五日まで。お問い合わせは(社)北海道全調理師会留萌支部(留萌保健福祉事務所保健福祉部)へ。
一六四 四二 一五一一

「勤労者福祉資金」 融資をご利用下さい。

北海道では、中小企業にお勤めの方(育児・介護休業中の方も含む)、季節労働者、企業倒産など事業主都合による離職者に、金融機関を通じて、医療・教育・冠婚葬祭などの生活資金を融資する制度があります。

配偶者からの暴力で 悩んでいる方へ

配偶者暴力防止法が改正されました。保護命令の対象を子供や離婚した元配偶者まで拡大するとともに、退去命令の期間を二か月に延長することなどを柱とした改正法が成立し、平成十六年十二月二日に施行されました。

改正の主な内容

配偶者からの暴力の定義の拡大
保護命令制度の拡充
被害者の自立支援の明確化など
詳しくは、役場町民課住民係までお問合せ下さい。

内閣府では、配偶者からの暴力被害者支援情報サイトを開設しています。

(<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htm>)

戸籍の小箱

慎んでお悔み
申し上げます

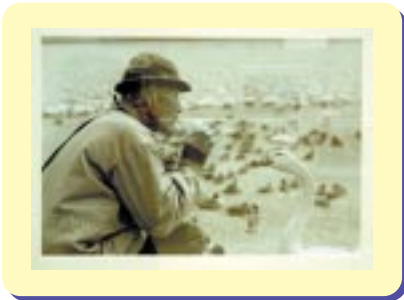
| 氏名 | 年齢 | 死亡日 | 住所 |
|-------------|--------|-----|----|
| 種市 チマ (77歳) | 10月20日 | 旭 | |
| 八巻 ヨシ (77歳) | 10月17日 | 古丹別 | |
| 古志直次郎 (87歳) | 10月24日 | 旭 | |
| 福井 光子 (60歳) | 10月27日 | 力昼 | |
| 斎藤子サ子 (96歳) | 10月29日 | 旭 | |
| 川島すゑ子 (82歳) | 10月29日 | 旭 | |
| 伊藤 好郎 (82歳) | 10月30日 | 古丹別 | |
| 小澤 正則 (76歳) | 11月2日 | 小川 | |
| 石岡 敏和 (56歳) | 11月6日 | 苫前 | |
| 倉田 タマ (92歳) | 11月12日 | 九重 | |

ご成長を
お祈り申し上げます

| 氏名 | 父・母 | 出生日 | 住所 |
|-------------------------|--------|-----|----|
| 糸川 翔子 (長女) 伸一郎 享 (長男) | 10月30日 | 旭 | |
| 檜森 香月 (長女) 貴貴 / 麻美 (長男) | 10月31日 | 古丹別 | |
| 吉田 羽奈 (長女) 久 / 享子 | 10月31日 | 古丹別 | |

未長くお幸せに

氏名(夫) 住所 氏名(妻) 住所
丹羽 晃生(長男) 西田 明子(苦前)
智也(三 孫) 佐藤 友美(羽幌町)



苫前町コタンフォトクラブ「語らい」
出品者 加藤 興一さん



苫前町陶芸の会
出品者 宮本アサエさん



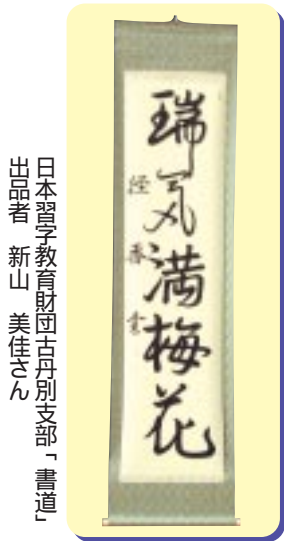
苫前町菊花会「盆養」
出品者 藤木 勝子さん



絵画教室パレット「宇宙」
出品者 古村 結さん



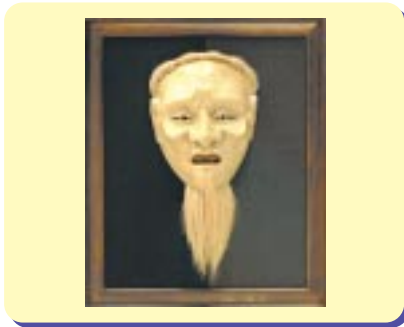
個人「五円玉手芸」
出品者 伊勢 文雄さん



日本習字教育財団古丹別支部「書道」
出品者 新山 美佳さん



苫前町木工サークルどんぐり
出品者 中村 千鶴さん



個人「能面」
出品者 東出 正興さん



木彫サークル「匠の会」
出品者 杉野 悦子さん



藍の会「パッチワーク」
出品者 早川 裕子さん

今月は特別企画『町民ギャラリー』を掲載致します。公民館フェスティバル展示部門作品の中から、その一部をご紹介します。

なお、新春号は『ちびっ子ギャラリー』古丹別中学校生徒の作品を紹介します。

風力発電の売電状況
(町営分)

16年の実績(1~10月分)
36,270,924円

平成16年10月分の実績

- ・供給電力量
453,470kWh
- 5,689,914円
- (設備利用率27.70%)

今年も残すところ後わずか。皆様にとつてどんな一年だったでしょうか。言葉にするなら「躍動」と「災害」かな。「躍動」では、北海道日本ハムファイターズやオリンピックでの日本の活躍、そして夏の甲子園での駒大苫小牧高校優勝。一方「災害」では大型台風、北海道上陸、新潟中越地方を襲った大地震。そして、苫前沖における海難事故。未だ行方不明者の身柄は確認できず、末広丸の家族の苦悩は続く中、十一月二十一日しめやかに合同葬儀が執り行われた。そんな中、合併協議会解散となり、今後苫前町はどう進んでいくのか不安…。さて来年は「酉年」、飛翔の年である。「心機一転」明るい年となるよう願うばかり。良い年をお迎え下さい。